



<p>Let's Read 1 A Mother's Lullaby</p>	<p>れた文章を読んで概要を捉えたり、自分の考えを伝えたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●環境と私たちの生活について考えるために、絶滅のおそれのあるイリオモテヤマネコについて書かれた文章を読んで、概要を捉えたり、私たちが取るべき行動について意見交換をしたりすることができる。</li> <li>●多くの人に絶滅のおそれのある動物の現状を知ってもらうために、減少の主な原因やその動物を守るために必要だと思うことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して記事を書くことができる。</li> <li>●不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。</li> <li>●海外の人に日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明することができる。</li> <li>●物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音読することができる。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 学 期</p> <p>Unit 4 How can we help each other in a disaster?</p> <p>Unit 5 What makes a good leader?</p> <p>Unit 6 What does it mean to be a global citizen?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災への意識を高めるために、外国人市民意識調査の結果について書かれた文章の要点を捉えたり伝えたりすることができる。</li> <li>●防災への意識を高め具体的な行動を取るために、どのような備えをしておくべきかなどについて伝え合う技能を身につける。</li> <li>●地域が一丸となって支え合い、災害に備えることの大切さを知るために、テイラーさんとテイラー文庫について書かれた文章の概要と要点を捉えたり、自分の考えや感想を書いたりすることができる。</li> <li>●防災・安全への意識を高めるために、地域の一員としての防災への取り組みについてどんな助け合いができるか、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して話したり書いたりすることができる。</li> <li>●どのような人やものかを理解したり伝えたりするために、言葉に情報を加えて、人やものについて説明したり、伝え合ったりすることができる。</li> <li>●どのような人かを理解したり伝えたりするために、言葉に情報を加えて説明したり、伝え合ったりすることができる。</li> <li>●平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えたり、時間軸に沿って事実を説明したりすることができる。</li> <li>●歴史上の人物の情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して話したり書いたりすることができる。</li> <li>●後置修飾を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。</li> <li>●自分のことをよりよく知ってもらうために、これまでの経験をまとめた活動報告を発表することができる。</li> <li>●世界の子供たちの状況や気持ちを理解するために、現実とは異なる願いについて書かれた文を理解したり、自分の願いを伝えたりすることができる。</li> <li>●国をこえて助け合いたいという気持ちを伝えるために、できたらいいと思うことを伝え合う技能を身につける。</li> </ul>

	Stage Activity Let's Have a Mini Debate	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国をこえて助け合うことの大切さを理解したり伝えたりするために、国際社会の状況について書かれた文章の概要や要点を捉えたり、意見や感想を伝えたりすることができる。</li> <li>●国を超えて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民の1人としての抱負について伝え合う技能を身につける。</li> <li>●ニュースなどのテレビ番組の音声を聞いて、概要や要点を理解することができる。</li> <li>●世界の現状について理解するために、世界を人口100人の村だと仮定して、自分の感想や考えを伝えることができる。</li> <li>●仮定法を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。</li> <li>●物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、主張とその理由を明確にしながら、ミニディベートをすることができる。</li> </ul>
3 学 期	Let's Read 2 Power Your Future Let's Read 3 Coloring Outside the Lines	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べることができる。</li> <li>●伝記を読んで、人物の歩みや功績を読み取り、自分の感想を述べることができる。</li> </ul>

### 3. 評価

観 点	評価の内容	評価の方法
知識・技能	英語の特徴やきまりに関する事項を理解する力、事実や自分の考え、気持ちなどを表現したり伝え合ったりする技能を評価します。	定期テスト・単元テスト・ワークシート・パフォーマンステストなどで評価します。
思考・判断・表現	事実や自分の考え、気持ちなどを表現したり伝え合ったりする力、必要な情報や概要、要点をとらえる力を評価します。	定期テスト・単元テスト・パフォーマンステストなどで評価します。
主体的に学習に取り組む態度	粘り強く英語の学習に取り組む姿勢と、自己分析して学習を調整しようとしている姿勢を評価します。	定期テスト・単元テスト・ポイントカード・ノートやワーク・授業の振り返り・観察法などで評価します。

上記に示した3つの観点から総合的に評価し、成績とする。

### 4. 学力向上のためのアドバイス

まずは授業に集中して取り組み、その日の学習内容を授業内で理解できるようにしましょう。そのためには、先生の話をよく聞いて大切なところはメモをとることが大切です。また、授業内に先生や友達と積極的に英語で会話をしたり、できる限り多く英語を使用することが英語を使えるようになる近道です。毎日のアップルタイムやハッピーテストにも集中して取り組みましょう。

英語は日本語のように毎日使用して学習してください。自主学習では、教科書やワークのQRコードを使用して正しい発音を確認しながら、意欲的に声を出して単語の発音練習をしたり教科書を音読しましょう。音声と一緒に発音するシャドーイングも耳を慣らすのに効果があります。また、単語を書いたり発音する練習、教科書の音読やワークの反復練習もしてください。学習の習慣を身につけて、継続して取り組むことで結果がついてきます。分からないことはいつでも教科担当の先生に相談してください。